

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	○	利用者さんが作り、さわってほしくないもの置くスペースがない（大き目のもの）。 もう少し広い場所があればよい。 指導訓練室で落ち着いた過ごしができるようにしたいが、指導訓練室で活動する人のほうがすくない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	○	個別対応が必要な利用者さんが2人以上いるときに、外遊びの活動でやりたい活動がわれてしまったとき、もう一人職員がほしいと思うことがある。 もう少し職員の数があればよい。 定員数に対して2名という基準は見たしているが、利用者さんが増えてかなり厳しい状況。日によっては常勤+4人（つまり6人体）にしたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	ものの所在地が書いてあるのでスタッフも分かりやすい。 場所が広くないと車イスの移動スペースが少ない。 おもちゃの場所に絵カードを張るなどの工夫が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○	ボール遊びを室内でやっていると危ないと思うことがある。 部屋の数が少ないため、利用者さん多いとせまく感じる。 ストープ、チャッカマンなど危険なため配慮が必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	○	時と場合により、普段は利用者の入室禁止のスタッフルームを使用できることがありありがたい（利用者さんが他の利用者さんと関わりたくないとき等）
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	○	毎日の振り返りの時間はあるが、目標があるとしたら知らなかった。 スタッフ会議や支援後の振り返り等で対応できていて良いと思います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	○	私はまだ経験がない。 通知等で周知できていて良いと思いますが、どこかの機会に直接親御さんの話をききたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフ会議等で意見が言える。 ヒヤリハットで確認でき、事前に危険を防止できる。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	よくわからない。 第三者の外部評価をしりたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		考える時間がある。 スタッフ会議や研修会や安全点検の機会が確保されている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		読んでいない。 個別ファイルで確認できますが、もう少しわかりやすくまとめても良いかもです。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		たぶんしていると思う。 児童発達管理責任者が支援会議に参加しているので放課後等デイサービスに反映されていると思います。 アセスメントのタイミングを逃してしまう。

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	決めていないように感じる。 利用者さんのやりたいことを一緒に考えている。 最近担当者会議ができていない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	○	楽しく過ごせればいいと思っている。 共有されれていると思いますが、利用者さんの人数が増えると職員の数足りるのか心配。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	あまり確認できていない。 標準化されたツールを知りたいです。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	立場の違う人が集まって会議が行われている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		春休み等では毎日違うイベントが計画されていた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	講演等での集団活動が多く、個別活動が少ない気がします。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	分からないことはすぐ聞ける。 支援開始前には確認していますが、各利用者さん、支援内容の確認が必要？	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		いろいろな人の意見を聞けるのがありがたい。 支援終了後には職員間で打ち合わせを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録がよくやくにたつ。 記録表で記録尾をとって確認はできていると思います。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	○	たぶんしていると思う。 支援会議等でモニタリングはできてると思います。 モニタリング時期を逃してしまう。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	○	職員は自己選択できるように工夫している。利用者さん同士の関係性の中で意見がひっぱられることもあり、利用者さん個人個人が自己決定できているかはわからない。	
	関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	関係機関と連携して支援体制を整えることができていると思います。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		宿題などの確認はしている。 学校に迎えに行く時に学校の先生方に利用者さんの様子を聞いています。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	呼ばれた際には移行支援会議に出席している。 内容（移行支援会議の）を知りたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	スーパーバイズや助言や研修を受けているかわからない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		演劇で関わっている。 上伊那共生の文化と遊び事業があるが、他に交流する機会が少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	自分は参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	一日での出来事が多く、すべてを保護者に伝えることはできていません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	演劇発表の場を通してか関わりを持つことはできている。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		プリントなどで通知しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを通して確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	○	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	利用者さんの親御さん同士で情報共有する機会があると良いと思う。 演劇発表で他の保護者さん同士で会う機会があると思いますが、その他は見当たらないと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		スタッフへの共有が早い。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等を活用して活動状況を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	○	スタッフルームに簡単に入れる。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		見える化されている。 記録表を書くときに利用さんの名前を出す。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	イベントに地域住民を招待する様子は見られない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	作成され、マニュアルの見直しも年間計画に盛り込まれている（事故防止、緊急時対応、防犯マニュアルは見直しは設定されていない）。 家庭への通知が出来ていない。訓練もできていない。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	○	まだ経験したことがない。 年間計画に策定内容の確認・見直しが含まれています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		支援開始前、職員間で服薬は確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについてはアセスメント時確認を行っている。 確認したいと思います。表等ですぐに確認できればいいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練やつみき内の安全点検を実施。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	○	やっているかわからない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		スタッフ会議において「ヒヤリハットノート」を作成し記入していくことにした。これにより、今までのヒヤリハットシートよりも気軽にヒヤリ報告ができるようにした。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	○	虐待防止研修は年間計画に盛り込まれている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	○	